Free R rail

住宅用屋外手すり フリーRレール

取扱説明書 / 施工要領書

ベースプレート式支柱
勾配対応式支柱30°

BJ-10ST/BJ-81DB　BJ-53ST/BJ-93DB　BJ-28ST/BJ-86DB
BJ-52ST/BJ-92DB　BJ-161ST/BJ-162DB　BJ-163ST/BJ-164DB
BJ-187ST/BJ-188DB　BJ-189ST/BJ-190DB　BJ-191ST/BJ-192DB

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方に本書をお渡しください。

マークの種類について

⚠ 警告　死亡または重傷を負う可能性がある内容
⚠ 注意　軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
⃠ 禁止行為
❗ 必ず行う

マツ六株式会社
〒543-0051　大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL：06-6774-2255　FAX：06-6774-2248
https://www.mazroc.co.jp/

2021年10月1日改定【01】

使用上のご注意　利用者用

⚠警告

⃠ 強い衝撃を与えない。

本製品に物をぶつけたり、
強い衝撃を与えない。手すりが破損し
思わぬケガの原因になる。

⃠ 破損があるものは使わない。

手すり部分にささくれ、大き
なヘコミ等の破損がみられた
場合はすぐに使用を止める。
手にケガをする恐れがある。

⃠ 製品に乗ったり、ぶら下がらない。

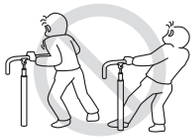
本製品に乗ったりぶら下がらない。
手すり棒がたわんだり、
支柱やブラケットが破損し、
思わぬケガの原因になる。

⃠ 火を近づけない。

本製品にタバコなどの火を
近づけない。
変形、変色の原因になる。

⃠ 製品に無理な力を加えない。

本製品を無理に押したり、引いたりしない。
手すり棒が曲がったり、
支柱やブラケットが破損し、
思わぬケガの原因になる。



⃠ 支柱のカット以外で製品を分解・改造しない。

固定部のボルト等をゆるめたり、
製品を分解・改造したりしない。
使用時に脱落したり予期せぬ
故障の原因になるばかりか、
重大事故につながる場合がある。

❗ 本製品にささくれ等の破損が
みられた場合はすぐに使用を
止めて、施工店またはマツ六
まで相談する。

お手入れ方法　利用者用

ふだんはやわらかい布で拭く。 汚れがひどいときは、 中性洗剤をしみこませた布で拭き、
その後水拭きをする。 仕上げに乾拭きをして、 水分を完全に取り除く。
汚れが目立たないうちから、 こまめなお手入れを行うこと。

⚠注意

⃠ 酸性、アルカリ性洗剤は使用しない。

酸性、アルカリ性洗剤、ベンジン、
シンナー等はツヤがなくなったり、
変形、変色の原因になるので
使用しない。

⃠ クレンザー、磨き粉は使用しない。

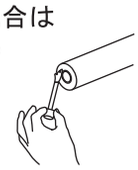
クレンザーや磨き粉など
粗い粒子を含んだ洗剤、
ナイロンタワシなどの傷を付け
やすいものは使用しない。

⚠警告

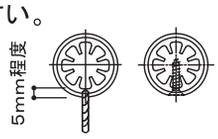
❗ ブラケット(支柱)ピッチは手すり棒に同梱されている取扱説明書/施工要領書のプランニングを確認し、必ず守る。

❗ 曲がる手すり棒を使用する場合は必ず防水パッキンと錆び止めローバル(別売)を使用する。

腐食や変色の原因になる。



❗ 直棒手すりを使用する場合は手すり芯材のリブとの干渉を防ぐ為、下穴の切削は深さ5mm程度で止め、手すり棒固定用のねじを打つと施工がしやすい。



❗ 手すり棒を仮止めする際は、必ず2本(個)以上の支柱(ブラケット)へ手すり棒をのせて作業を行なう。

ねじや支柱(ブラケット)が破損する原因になる。

⃠ 直棒手すりは曲がらない。

曲げる際は「手すり棒」を使用する。

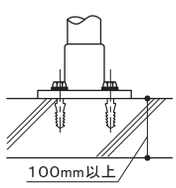
〈手すり棒断面〉〈直棒手すり断面〉

⃠ 手すりをブラケット(支柱)に取付けた状態で手すりを曲げない。

ブラケット(支柱)が破損する原因になる。

❗ ベースプレート式支柱及び、勾配対応式支柱は床面のコンクリート厚に注意する。

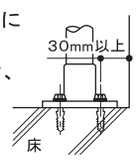
コンクリート厚が100mm以上無い場合は取付けできない。充分な強度がでない。



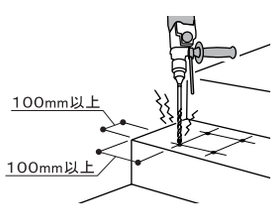
⚠注意

❗ 壁とアンカー位置は30mm以上はなす。

チョークラインは65mm以上(タイル目地に合わせる場合は80mm以上)はなす。壁からアンカーを充分にはなさない場合、充分な強度が出ない場合がある。



❗ へりあき寸法は100mm以上はなす。



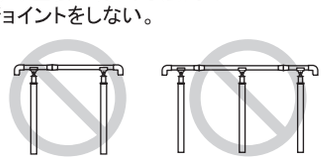
❗ 施工時製品に付着した切り粉は速やかに清掃する。

表面にキズがつき腐食の原因になる。

⃠ 支柱及び、ブラケットはコンクリート下地以外に取付けない。

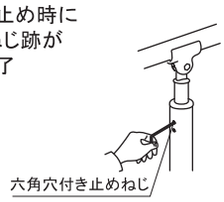
⃠ ジョイントは最小限の数で取付ける。

手すり棒ジョイントは、手すり棒の定尺寸法(2m材、3m材)及び直棒手すりの定尺寸法(2m材、4m材)を考慮し、最小限の数量とする。また、手すり全長が定尺寸法内の場合はジョイントをしない。



⃠ 六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締付けない。

六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締め過ぎると支柱にねじ跡が付くことがある。施工が完了するまで、本締めしない。



部品明細

施工者用

使用する支柱の付属品を確認する。

標準

皿ドリルねじ
（4×19mm）

六角棒スパナ
（呼び5mm・3mm）

※BJ－52ST/BJ－92DBには六角棒スパナ
呼び3mmは付属していない。

エンド

皿ドリルねじ
（4×19mm）

防水パッキン

六角棒スパナ
（呼び5mm・3mm）

コーナー

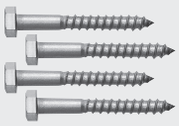
皿ドリルねじ
（4×19mm）

防水パッキン

キャップ

六角棒スパナ
（呼び5mm・3mm）

ベースプレート式



コーチスクリュー
（8×65mm）

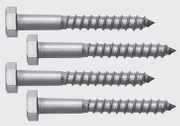
ナイロンアンカー
（10×50mm）

ばね座金
（呼び8mm）

平座金
（呼び8mm）

調整スペーサー

勾配対応式(専用カバー付)



コーチスクリュー
（8×65mm）

ナイロンアンカー
（10×50mm）

専用カバー

六角棒スパナ
（呼び6mm）

ばね座金
（呼び8mm）

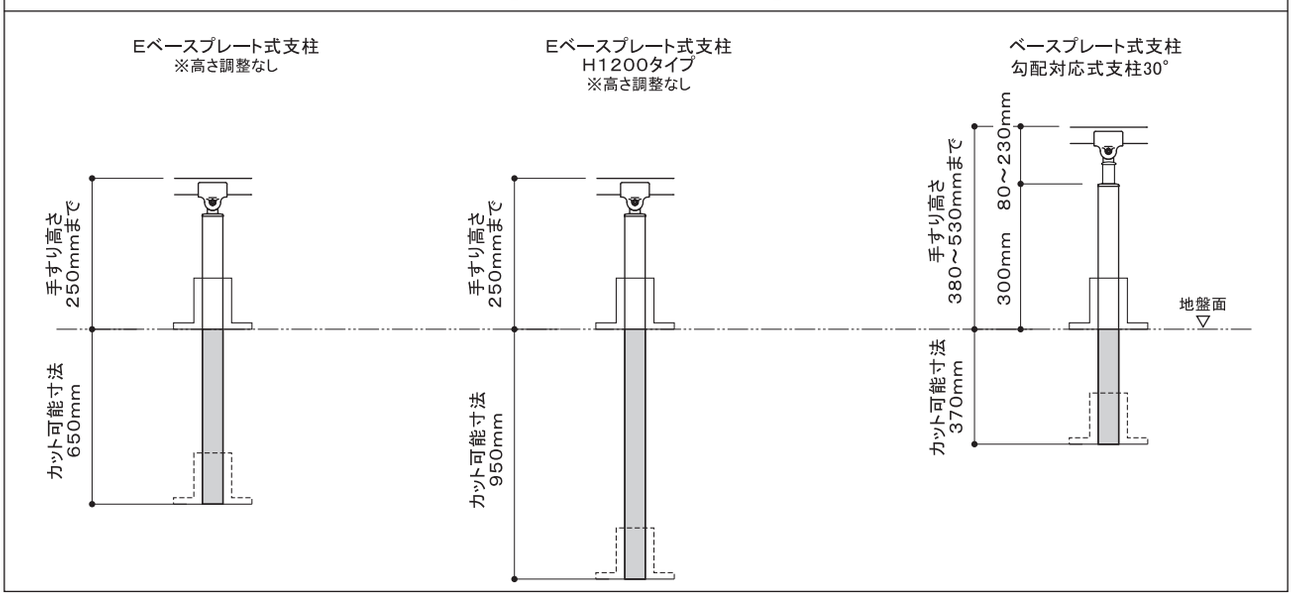
平座金
（呼び8mm）

調整スペーサー

施工手順　支柱のカット方法

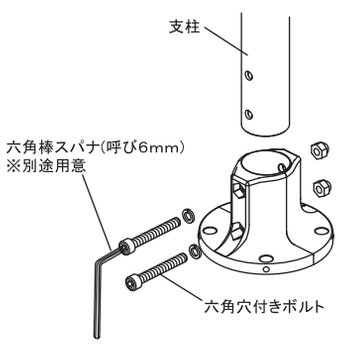
施工者用

【支柱のカット可能範囲】

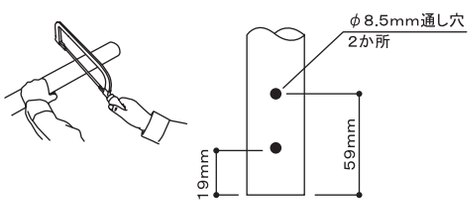


ベースプレート式

① 六角穴付きボルトをはずし、支柱を抜く。

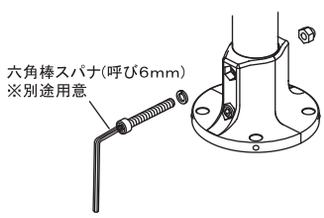


② 金ノコ等で希望の長さにカットし、
ベースプレート固定用の穴(φ8.5mm)をあけ直す。



支柱はカット可能寸法以上カットしない。

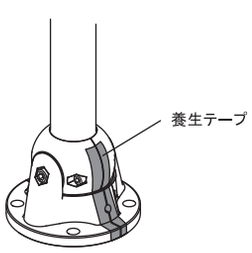
③ ベースプレートに支柱を差込み、
六角穴付きボルトで固定する。



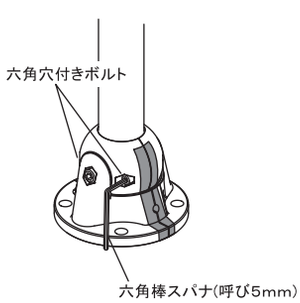
ボルトを締め直す時は、
締付トルク10N・m以上で締付ける。

勾配対応式

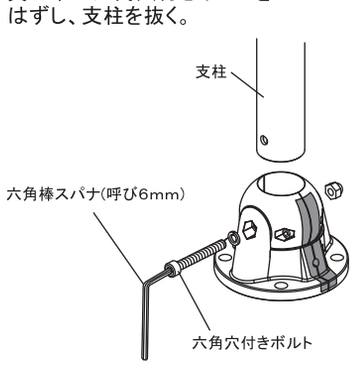
① 養生テープなどで部品がバラバラに
ならないように仮固定する。



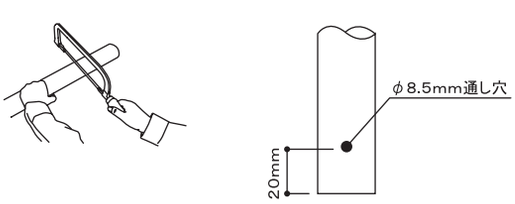
② 両側の六角穴付きボルト
(2か所)をゆるめる。



③ 真ん中の六角穴付きボルトを
はずし、支柱を抜く。

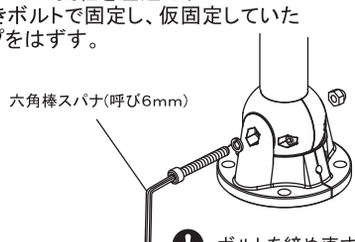


④ 金ノコ等で希望の長さにカットし、
ベースプレート固定用の穴(φ8.5mm)をあけ直す。



支柱はカット可能寸法以上カットしない。

⑤ ベースプレートに支柱を差込み、
六角穴付きボルトで固定し、仮固定していた
養生テープをはずす。

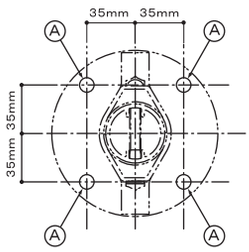


ボルトを締め直す時は、
締付トルク10N・m以上で締付ける。

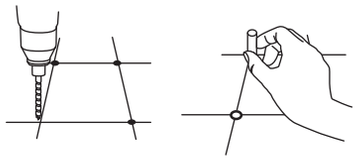
施工手順　ベースプレートの固定方法　　施工者用

ベースプレート式

① 設置位置を決め、右図に基づき下穴位置Ⓐ点を記す。

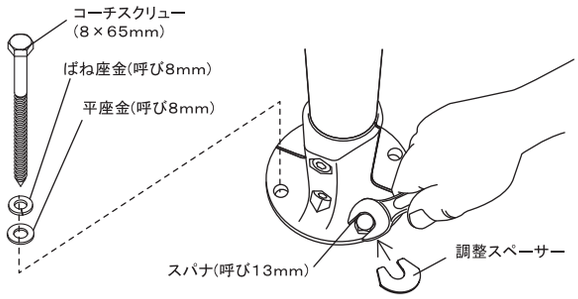


② マーキングしたⒶ点に振動ドリル(φ10mm)にて、深さ55mmの穴をあけ、付属のナイロンアンカーを挿入する。



❗ アンカー穴はナイロンアンカーを挿入する前に充分に掃除して削りくずを取り除く。ナイロンアンカーは地面より出ないように挿入する。

③ ベースプレートを固定する。

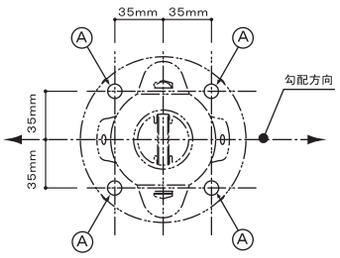


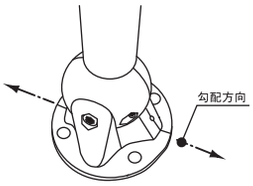
水勾配等により支柱が垂直に立てられない場合は、調整スペーサーを地面とベースプレートの間に入れる。
対応水勾配は1/50まで。

❗ 調整スペーサーは1か所につき2枚までとする。ベースプレートが損傷する恐れがある。

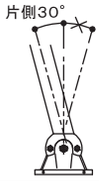
勾配対応式

① 設置位置を決め、下図と手すり方向に基づき下穴位置Ⓐ点を記す。
専用カバーはテープ等で支柱に取付けておく。



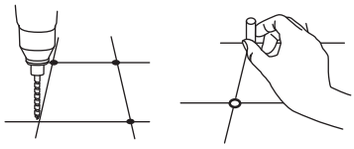


【角度調整範囲】



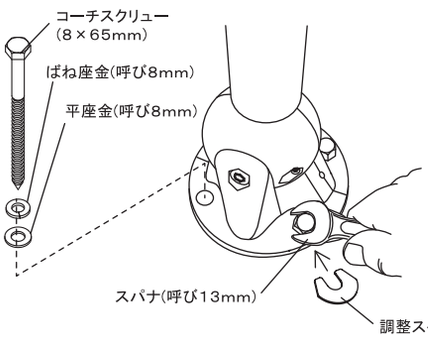
❗ 支柱は片側にのみ角度調整が可能な為、向きには十分注意する。

② マーキングしたⒶ点に振動ドリル(φ10mm)にて、深さ55mmの穴をあけ、付属のナイロンアンカーを挿入する。



❗ アンカー穴はナイロンアンカーを挿入する前に充分に掃除して削りくずを取り除く。ナイロンアンカーは地面より出ないように挿入する。

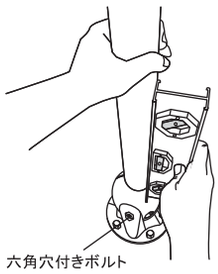
③ ベースプレートを仮固定する。



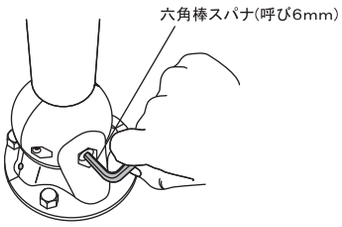
水勾配等により支柱が垂直に立てられない場合は、調整スペーサーを地面とベースプレートの間に入れる。
対応水勾配は1/50まで。

❗ 調整スペーサーは1か所につき2枚までとする。ベースプレートが損傷する恐れがある。

④ 真ん中の六角穴付きボルトをゆるめ、水平器で支柱が垂直になるように調整する。

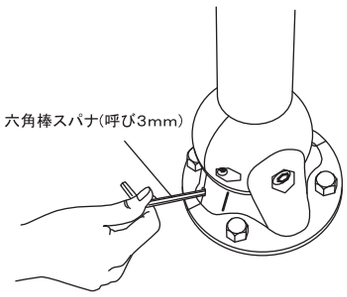


⑤ 支柱の角度が決まったら六角穴付きボルトで固定する。



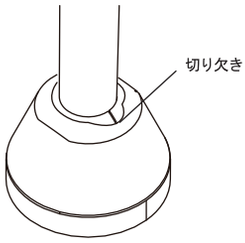
❗ ボルトを締め直す時は、締付トルク10N・m以上で締付ける。

⑥ 両側の六角穴付き止めねじを締付けて、支柱の傾きを完全に固定する。



⑦ ベースプレートを完全に固定し、カバーをかぶせる。最後にぐらつきが無い事を確認する。

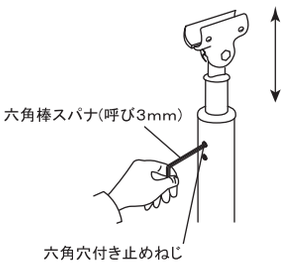
カバーの切り欠きを支柱の傾斜側に向けてカバーをかぶせる。



施工手順　高さ調整の固定方法　　施工者用

高さを決めて六角穴付き止めねじ(2か所)を固定する。

※Eベースプレート式支柱には高さ調整機能はない。

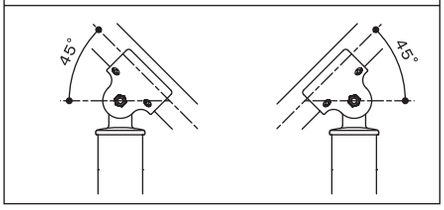


⊘ 六角穴付き止めねじは仮止め時に強く締付けない。
支柱にねじ跡が付くことがある。施工が完了するまで、本締めしない。

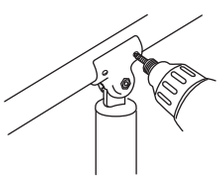
施工手順　手すり棒の固定方法　　施工者用

標準

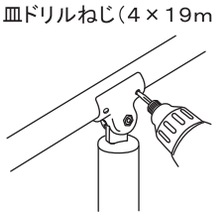
【角度調整範囲】



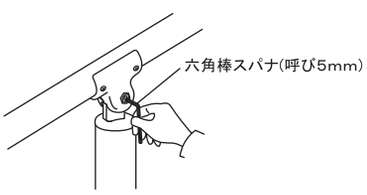
① φ3.3mmの下穴をあける。



② 皿ドリルねじ(4×19mm)で固定する。

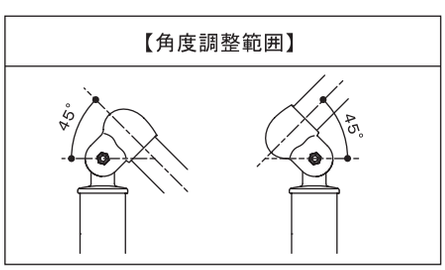


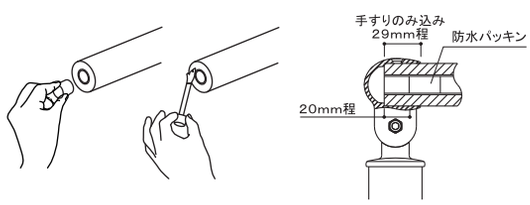
③ 六角棒スパナ(呼び5mm)で
首振り角度を固定する。



エンド

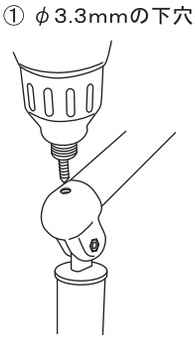
【角度調整範囲】



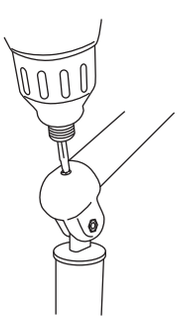


❗ 曲がる手すり棒を使用する場合は
必ず防水パッキンと錆び止めローバル(別売)を使用する。

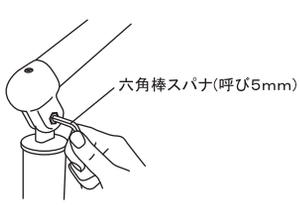
① φ3.3mmの下穴をあける。



② 皿ドリルねじ(4×19mm)で固定する。

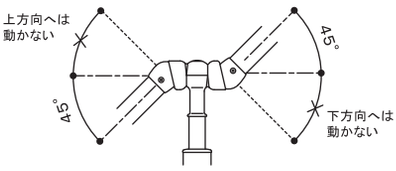


③ 六角棒スパナ(呼び5mm)で
首振り角度を固定する。

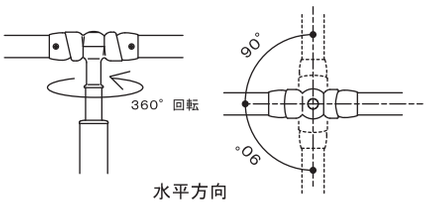


コーナー

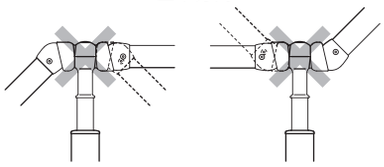
【角度調整範囲】



上下方向

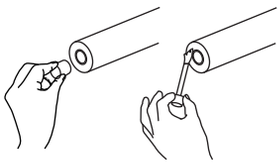


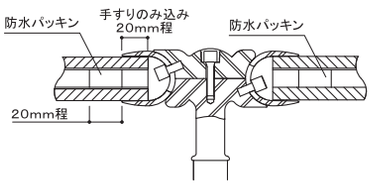
水平方向



両側の手すり棒を上向き(下向き)にすることはできない。

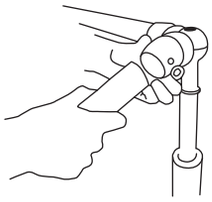
支柱本体を固定した後に角度調整の向きを変える場合は、
高さ固定用の六角穴付き止めねじをゆるめ、支柱上部だけを
回転させることができる。



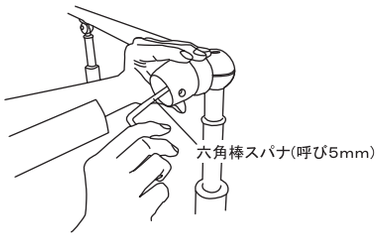


曲がる手すり棒を使用する場合は
必ず防水パッキンと錆び止めローバル（別売）を使用する。

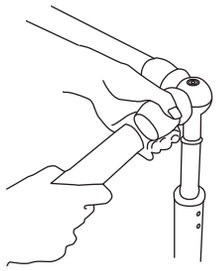
① 支柱(もしくは壁付ブラケット)を取付け後、
手すり棒を仮置きし、コーナー支柱に手すり棒を
挿入することで首振り角度を調整する。



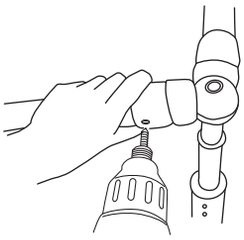
② 手すり棒をスライドさせ取りはずし、
六角穴付きボルトを本締めして首振り
角度を固定する。



③ 手すり棒をコーナー支柱に挿入する。

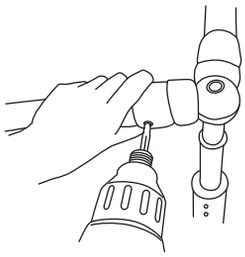
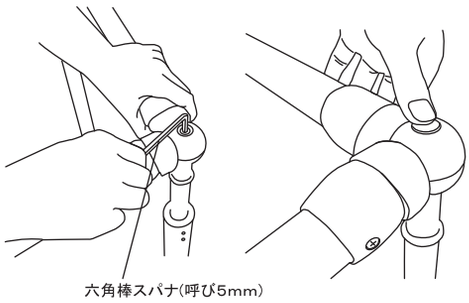


④ φ3.3mmの下穴をあける。



ねじ止めの穴位置は180°回転可能。

⑤ 皿ドリルねじ（4×19mm）で固定する。



⑥ 六角穴付きボルトを本締めして、
キャップをはめ込み完了。